
風が吹けば桶屋が儲かる ~ ヒーロー編 ~

烏山 満

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

風が吹けば桶屋が儲かる ～ヒーロー編～

【Nコード】

N5076BA

【作者名】

烏山 満

【あらすじ】

髪の毛が気になるお年頃の田中さんが主人公の『風が吹けば桶屋が儲かる』話。コメディーしか要素がありません。（髪の毛を気にしている方はお読みにならない方がいいと思います。他のサイトに転載する可能性があります）

風が吹く

3丁目の田中さんの最後まで死守していた頭頂部の毛が風圧により抜ける

田中さんはわが子同然に可愛がってきた毛の家出に衝撃を受ける
やり場の無い怒りをぶつけるため18丁目まで走り抜けてみる
怒りが収まらず通行人に喧嘩を吹っかける

その通行人は総合格闘技のチャンピオンだった
惨敗

ボロボロになりつつも毛への執念で立ち上がる
うなり声を上げながら近づいて来る田中さんにチャンピオンもさすがに引く

逃げるようにその場を立ち去るチャンピオンの後姿を見て優越感に浸る

「勝った……！」

そのまま力尽きて歩道の真ん中に倒れこむ
たまたま近くのコンビニにポテチを買いにきた博士がその様子を見ていた

「なんて不屈の精神を持つ漢だ……！」

とりあえず研究所まで引きずっていくことにした
メタボ予備軍の田中さんは結構重い

足を持って引つ張るため頭皮が道路にこすれる

頭皮に112のダメージ！！

しかし田中さんは気絶している……！！

どうせもう生えるものはないから関係ない

ところで田中さんを引きずっている博士の目下の研究は人工的ヒ

ーローの創造だった

もちろん田中さんを研究対象にするため研究所へと運んできたのだ

実験が始まって田中さんは目を覚まさない
検査結果によると田中さんは博士の研究対象として最適な素質を
持っていることが判明した

「目覚まさないしこのまま改造しちゃってもいいんじゃない？」

田中さんの同意を得ずに改造開始

実験は翌朝まで続いた……

翌日の昼ごろやっと田中さんは目を覚ます

目が覚めたらなぜかマッチョになってた

知らないオッサンが改造したらしい

しかし鏡を見た田中さんを更なる衝撃が襲う……！！！！

か……

髪が………

『

髪が生え始める

』

田中さんの頭部をフツサリした黒い髪が覆っていた

感動した田中さんは博士の依頼した怪人退治を二つ返事で受け入
れる

ゴリマッチョ化した田中さんに敵はいない

現れる怪人達をバツバツサとなぎ倒す

皆の人気者に

田中さんの人生に春が来た

ある日怪人の放ったミサイルが髪を掠めた

無事に倒し終える

帰り道すれ違ふ人が皆こっちをむいて笑っている

人気者は辛いぜ……と思って帰宅
鏡を見て衝撃を受ける

『す……

ズ
レ
て
る

』

そう、田中さんの髪はツラだったのだ

田中さんは博士の研究所に走った

田中さんは涙ながらに博士に訴えた

「おれはこんな偽者の髪に頼りたくないんだ……！……！」

「仕方なかったんだ……ヒーローがはげてるなんて……ビジュアル的に許されないんだよ……」

「だとしても他に方法が！」言い募る田中さんに博士は冷酷な一言を放った

「君の頭皮はもう死んでいるんだよ……毛が生えることはもう無い。だからこそツラに頼るしかなかったんだ」

田中さんは絶望に飲み込まれた

そうしてその日からぱったりと田中さんは姿を見せなくなった

ヒーローがいなくなったことで怪人たちがのさばり始めた

人々は田中さんの再来を願い、田中グッズを量産した

その中でも田中さんの顔（髪が生えてる）と『田中』と文字が掘り込まれた桶が人気を集めた

ちなみにその桶は博士プロデュースである

桶屋が儲かる

(後書き)

ハイ。自分でもかなりバカな話を書いたと思っています。

たぶんこの続編も書きますよ。その後の田中さんを描きます。乞うご期待!!!

『風が吹けば桶屋が儲かる』シリーズで書いていこうかな、とか今のところ考えています。

西部劇とかSFとかで書くのも面白そう。あ、田中さんは出しませんけどね？

最後になりましたが、読んでいただきありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5076ba/>

風が吹けば桶屋が儲かる ~ヒーロー編~

2012年1月14日11時51分発行